

域医療連携室だより



発行元 地方独立行政法人 市立大津市民病院

地域医療連携支援センター地域医療連携室

F520-0804

滋賀県大津市本宮二丁目9番9号

077-526-8192

077-522-0192 発行日:2024年3月1日

市立大津市民病院

乳腺外科からのお知らせ

当院の乳腺

当院の乳腺外科診療はすべて女性医師が担当します。

診察日:平日 月・水・木・金

担当医:川口 佳奈子、平田 碧子

『しこりはないけど乳房が痛い』『検診でひっかかったけど受診が怖い』『娘の乳房にしこりがあるので相談したい』など、乳 房の悩みすべてに対応致します。妊娠や授乳中、豊胸術後、医療器具(ペースメーカーやリブレなど)留置等の理由から自 治体の検診が受けられない方も受診頂けます。プライバシーを確保し、時間をかけて丁寧に診察致します。



診察の流れ



- * 外来診察はすべて女性医師が担当します
- *緊急の場合や当日希望の場合は予約外でご受診ください

診察当日

- *マンモグラフィ・超音波
- * 頻回の来院困難な高齢の方などでは、当日に組織診を行う 場合があります

検査日

- * 造影 MRI
- *組織診

結果説明

女性外科外来も行っております。 痔などでお困りの方もご相談下さい!

診察日:平日 月·水(予約制)

令和5年度 学術講演会

『乳腺について相談されたときに知っておきたいポイント』

市立大津市民病院

��_&~��_&~��_&~��_&~��_&~

日本医師会生涯教育単位:1.0 単位 カリキュラムコード(CC):4「医師-患者関係とコミュニケーション」

•乳腺外科部門診療部長 川口 佳奈子

令和6年3月21日(木)15:00~16:00

令和 5 年度市立大津市民病院 学術講演会・病院見学会参加フォー











医療の質・安全管理室

安全な医療を提供するために 〜報告書管理体制について〜

報告書管理対策部会

日本の医療安全対策における考え方は、1990 年代までは「医療従事者個人の努力に依拠する」というものでした。しかし、その後に起こった重大な医療過誤の経験から、2000 年代以降「個々の質を高め、かつシステム全体を安全性の高いものへ」に変化しました。

今日、「医療安全」は病院が組織として取り組む重要な課題となっています。

日本医療機能評価機構が提供している医療安全情報によると、画像診断報告書の確認不足により治療が遅れた可能性のある事例は、2012 年は 3 件でしたが、2018 年には 37 件に増加しました。このような状況から、厚生労働省は、画像診断報告書等の確認不足に対して組織的に対策することを要請しました。



報告書を確認しなかった主な背景

- ・専門領域の読影に自信があり、報告書を確認しなかった
- ・検査目的の部位のみ画像で確認して患者さんに説明し、その後、報告書の確認を忘れた
- ・患者さんへの説明時に報告書が作成されておらず、その後確認しなかった
- ・報告書を確認する習慣がなかった

(医療安全情報集より)

当院では 2022 年に「報告書確認対策チーム」を立ち上げ、画像診断報告書および病理診断報告書の未読・既読を毎月調査するとともに、未読の場合は当該医師への通知を行ってきました。今年度からは「報告書管理対策部会」として組織を強化し、活動しています。報告書管理では、単に報告書の未読を調査するだけでなく、重要所見がある場合は、カルテの記載内容などから患者さんへの説明や処置が行われたかまで確認しています。また、医療安全研修として、報告書管理の実施報告と未読通知の実施例を紹介し、職種を問わず、報告書確認の重要性を認識できる機会を設けています。

地域住民の皆様に安心して医療を受けていただくためには、個々の病院のみならず、地域全体で医療安全対策に取り組むことが不可欠です。地域医療に従事される先生方におかれましても、報告書確認の重要性をご理解いただき、今後とも安全な医療の提供にご協力いただきますようにお願い申し上げます。

<当院から地域の先生方へのお願い>

報告書には緊急性のある所見が記載されている場合もございます。必ず早期にご確認いただき、 患者さんへの円滑な説明や適時精査・治療などのご対応をお願いいたします。



緩和ケアだより

今年度からいのちのスープ、音楽療法、ペット面会、クリスマス会などコロナ禍で中止していた行事を再開しました。面会の時間や人数制限はありませんのでご家族も一緒に参加していただけます。皆様が楽しそうに過ごされている姿をみて、私達も温かい気持ちになりました。今後も患者様やご家族が少しでも心地よく過ごして頂けるようなケアを心がけてまいります。

いのちのスープ



料理研究家「辰巳芳子先生」のいのちのスープをボランティアさんが作って下さいます。

食欲のなくなった患者様が「これなら食べられる」と喜んで下さいました。



音楽療法



患者様がリクエストされた思い出の 曲を演奏していただきました。患者様も 楽器に触れて楽しんでおられました。

ペット 面会 ^C



可愛がっていた猫ちゃんに久しぶり に会うことができました。





クリスマス会



主治医にそっくり(!?)のサンタさんが病室を回り、手作りのクリスマスカードをお渡ししました。



DMAT 隊や日本看護協会災害看護支援ナース

この度の能登半島地震により、被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申しあげます。

市立大津市民病院では、DMAT や日本看護協会災害看護支援ナースの派遣による医療的支援を行っています。引き続き、

必要な支援で被災地の医療に貢献できるよう尽力いたします。

石川能登半島地震における職員の派遣者数

グループ名	班	出発~帰還	職種(役割)	人数
DMAT	第一班	1/3~1/7	医師	1
			看護師	3
			業務調整員	2
	第二班	1/13~1/17	医師	1
			看護師	3
			業務調整員	3
	第三班	2/11~2/15	業務調整員	2
日本看護協会 災害看護 支援ナース	第二班	1/6~1/10	看護師	1
	第五班	1/18~1/22	看護師	2
	第六班	1/21~1/25	看護師	1





2月16日現在

市立大津市民病院大学健康講座を開催いたしました

第7回 市立大津市民病院大学 健康講座

「知ってて得する認知症へのそなえ」

■日 時:令和6年2月21日(水)14:00~15:00

■場 所:市立大津市民病院 9階会議室

■講 師:認知症看護認定看護師 和田みどり

今回の講座では、加齢による物忘れと認知症の違い、認知症予防、認知症の人への関わり方のポイントなど、認知症へのそなえについて説明がありました。46名の参加があり、講座中に認知症予防運動を参加者の皆さんと一緒に行いました。参加者から、「もしもの時の事を考えておかなければならないと思った。」「人事ではないこと、自身で気を付けることもわかりました。」などたくさんのご意見をいただきました。



中央右/4